



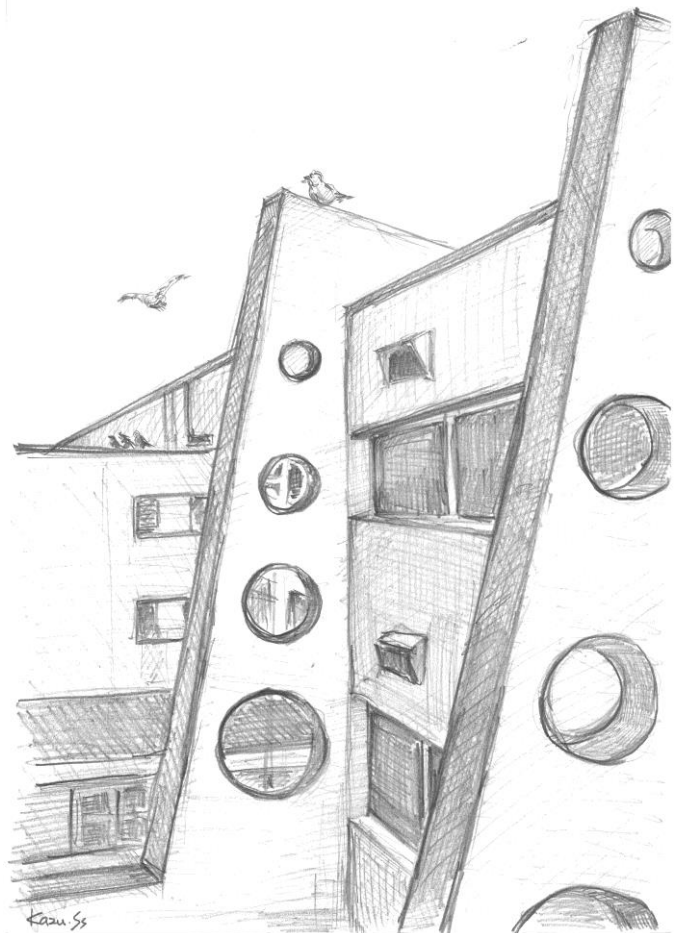
## わたしの大切な風景

校長 佐野 政紀

朝の散歩をかねて登校指導をしていると多くの地域の皆さんに出会います。

交通量の多い地点で登校を見守ってくださる方、田畑の世話をされている方、登校を急ぐ中・高生、車を徐行しながら車内から会釈をしてくださる方と様々です。通学班の上級生は年下の子を安全安心第一に引き連れてきてくれます。

ハプニングやトラブルは毎日のようにあります。先日は、進行方向を逆向きに歩いていた低学年児童が不意に側溝に転落しました。通学班の仲間は手助けをしましたが、少々の傷を負いました。近くで見守っていただけの方が傷の手当と、言葉がけをしてくださり、おおごとになることなく登校することができました。その子は少々、涙目でしたが、登校する姿に力強さを感じました。



過日、他地域では、いつものように登校していた子どもらが突然、凶行にさらされる痛ましい事件が起きました。登校という日常風景の中で到底に想定できない状況です。言葉が出ません。どうすれば、学校や家庭の目が届かない安全の「死角」をなくせるか。無防備な子どもを守るために日々考え、動いています。

伏見小

検索



【わたしの大切な風景】今年度も現代陶芸美術館（多治見市）の佐々木和哉先生を図工のゲストティーチャーとして招聘しました。6年生の風景画を指導いただいた際にデッサンされた絵を提供いただきました。